

観点別内容と特色



内 内容解説資料の該当ページ

	内容と特色	具体例(教科書該当ページ)
1 教育基本法・学校教育法との関連	<p>①書写学習を通して、幅広い知識と教養、生活に必要な文字を書く力を身につけるとともに、自らの文字を正しく整ったものにしていく課題解決の過程で、自主・自律の精神を養えるよう編集している。</p> <p>②文字文化コラム「文字のいずみ」を中心に、伝統と文化を尊重し継承しようとする態度を養えるよう配慮している。</p>	<p>①全学年・全単元 ②文字のいずみ 1年p.19, 28, 40</p>
2 教育課程および学習指導要領への対応	<p>①学習指導要領の書写に関する事項をもれなく指導し、生徒が主体的にねらいを達成できるよう、単元を組織・配列している。</p> <p>②言葉・文字による見方・考え方を働かせて、書写に関する「知識・技能」の習得、正しく整えて書くための「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養を実現するよう編集している。</p>	<p>①全学年・全単元 ②全学年・全単元</p>
1 学習指導要領に準拠した編集がなされているか。	<p>①知識及び技能 ・文字を正しく整えて速く書くための知識・技能を系統的に整理して「書写のかぎ」と名付け、原則1単元に1事項配置して、確実な習得を図るよう工夫している。さらに、生活の中で活用する単元を組み合わせることで、確かな定着を図っている。 ・小学書写の内容を「小学校の学習を振り返ろう」で確認し、中学校での学習の基盤を確かなものとしている。 ・単元間に適宜、既習事項を確認する「まとめ」のページや、評価に役立つ「書写テストに挑戦しよう」を設け、知識の定着と学力の向上を図っている。</p> <p>②思考力、判断力、表現力等 ・基本単元では、「見つけよう」で文字から「書写のかぎ」を見つけ出したり、「生かそう」で「書写のかぎ」を他の文字に応用したりする活動を通して、思考力、判断力、表現力を養えるよう配慮している。 ・活用単元「生活に広げよう」では、基本単元で身につけた知識・技能を、国語や他教科の学習、生活の中で活用する場面を設定して、思考力、判断力、表現力を養えるよう配慮している。</p> <p>③学びに向かう力、人間性等 ・巻頭の「書写で学ぶこと」で、書写学習の意義を知って学習の見通しを持ち、将来にわたって自分の文字をよりよくしようとする態度を育てるよう工夫している。 ・単元末の「振り返って話そう」で対話を通して学習を振り返ることで、思考を深めて次の学習への意欲を高められるように工夫している。</p>	<p>①1年p.36, 2年p.56, 「小学校の学習を振り返ろう」1年p.6, 「楷書のまとめ」書写テストに挑戦しよう」1年p.24 ②「見つけよう」「生かそう」1年p.34, 2年p.62 ③「書写で学ぶこと」p.2, 1年p.33</p>
2 書写で目指す資質・能力を育成するための工夫がなされているか。 →内 p.6-7	<p>①知識及び技能 ・文字を正しく整えて速く書くための知識・技能を系統的に整理して「書写のかぎ」と名付け、原則1単元に1事項配置して、確実な習得を図るよう工夫している。さらに、生活の中で活用する単元を組み合わせることで、確かな定着を図っている。 ・小学書写の内容を「小学校の学習を振り返ろう」で確認し、中学校での学習の基盤を確かなものとしている。 ・単元間に適宜、既習事項を確認する「まとめ」のページや、評価に役立つ「書写テストに挑戦しよう」を設け、知識の定着と学力の向上を図っている。</p> <p>②思考力、判断力、表現力等 ・基本単元では、「見つけよう」で文字から「書写のかぎ」を見つけ出したり、「生かそう」で「書写のかぎ」を他の文字に応用したりする活動を通して、思考力、判断力、表現力を養えるよう配慮している。 ・活用単元「生活に広げよう」では、基本単元で身につけた知識・技能を、国語や他教科の学習、生活の中で活用する場面を設定して、思考力、判断力、表現力を養えるよう配慮している。</p> <p>③学びに向かう力、人間性等 ・巻頭の「書写で学ぶこと」で、書写学習の意義を知って学習の見通しを持ち、将来にわたって自分の文字をよりよくしようとする態度を育てるよう工夫している。 ・単元末の「振り返って話そう」で対話を通して学習を振り返ることで、思考を深めて次の学習への意欲を高められるように工夫している。</p>	<p>①1年p.36, 2年p.56, 「小学校の学習を振り返ろう」1年p.6, 「楷書のまとめ」書写テストに挑戦しよう」1年p.24 ②「見つけよう」「生かそう」1年p.34, 2年p.62 ③「書写で学ぶこと」p.2, 1年p.33</p>
3 「主体的・対話的で深い学び」の実現に対する工夫がなされているか。 →内 p.6-7, 10	<p>①巻頭の「書写で学ぶこと」「書写の学習の進め方」で、何を、どのように学び、何ができるようになるのかを考えることで、見通しを持って主体的に学習に取り組めるように配慮している。</p> <p>②基本単元の導入「見つけよう」では、生徒に身近な硬筆文字から課題を見出すことで、主体性を引き出すよう工夫している。</p> <p>③単元末の「振り返って話そう」では、学んだことを説明するという対話的活動を取り入れて、確かな理解につながる自己評価ができるよう促している。</p> <p>④基本単元内の「生かそう」や活用単元「生活に広げよう」で、学んだことを他の文字や生活の中で活用するために思考・判断・表現することを通して、「深い学び」を実現できるように工夫している。</p>	<p>①「書写で学ぶこと」p.2, 「書写の学習の進め方」p.4 ②③「見つけよう」「振り返って話そう」1年p.14, 2年p.50 ④「生かそう」1年p.14, 2年p.50, 「生活に広げよう」1年p.45</p>
4 書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育成するための工夫がなされているか。 →内 p.12-13, 14-15	<p>①活用単元「生活に広げよう」は、基本単元で身につけた知識・技能を生活に生かす力をつけるために、生徒に身近な場面を題材に、例を豊富に掲載している。例1年：行事の案内状、年賀状、職場訪問の手紙やポスター、2年：本のポップ、防災訓練の話し合いメモやパンフレット、3年：卒業に向けた作品</p> <p>②学年共通で使える「書写活用ブック」では、目的に応じたさまざまな書式の特徴と書き方を解説し、情報を整理し効果的に発信する情報活用能力を育成できるよう工夫している。また、常用漢字表に加えて人名用漢字表も掲載し、名前を整えて書くこととする主体的な態度を養うように工夫している。</p>	<p>①「生活に広げよう」1年p.26, 42, 45, 2年p.64, 75, 3年p.91 ②「書写活用ブック」p.1～9, 12～13</p>

	内容と特色	具体例(教科書該当ページ)
5 文字文化に関する学習が充実するように工夫されているか。 →内 p.20-23	<p>①文字文化コラム「文字のいずみ」を設けて、文字の歴史や用具・用材、手書き文字と活字、社会の中で使われる手書き文字など、伝統的なものから現代に生きるものまで幅広く取り上げ、文字文化を継承・発展させる態度を養うよう工夫している。</p> <p>②書き初めの単元を各学年に設けて、生活に根付く伝統的な文字文化について理解を深められるよう工夫している。</p>	<p>①「文字のいずみ」1年p.19, 28, 40, 48, 2年p.61, 72, 3年p.84, 94 ②「書き初めをしよう」1年p.44, 97, 2年p.74, 101, 3年p.90, 105</p>
6 教育の ICT化への取り組みが図られているか。 →内 p.26-27	<p>①(Dマーク)がある単元では、教科書教材と連動したデジタルコンテンツを提供している。インターネットとコンピューター、タブレット等を活用して、毛筆教材文字の連筆動画や、関連する国語の教科書ページなどを見ることができる。家庭学習や個に応じた指導にも対応できるように工夫している。</p> <p>②制度化された学習者用デジタル教科書の発行を予定している。</p>	<p>①p.1のQRコードとURL、単元名の(Dマーク) </p>
3 教科書の構成上の配慮と工夫		
1) 内容・系統・配列		
1 単元の系統性・連続性が図られているか。 →内 別冊 p.4-5	<p>①中学校書写で学ぶ知識及び技能を「書写のかぎ」と名付けて系統的に整理し、それらを確実に習得できるよう、学年の発達段階に応じて重点化しながら各単元に配置し、螺旋的に学習できるように工夫している。</p> <p>②1～3年を合冊にすることで、中学3年間での学習を見通しながら、既習事項との関連付けも図りやすいよう工夫して、定着を促している。</p>	<p>①②全学年・全単元</p>
2 硬筆・毛筆指導の関連が図られているか。 →内 別冊 p.6-7, 11	<p>①基本単元は、硬筆文字を題材に導入を図り、毛筆で書いて確認し、硬筆で他の文字を書くことで定着を図るという展開で、硬筆と毛筆の密接な関連を図っている。</p> <p>②硬筆による「まとめ」のページを適宜設け、毛筆で身につけた力を硬筆に生かす学習活動を設定している。</p> <p>③毛筆教材と硬筆教材との配分を考慮し適切な順で単元を配列することで、硬筆・毛筆を効果的に関連させた指導ができるようになっている。</p>	<p>①毛筆教材の基本単元 1年p.36, 2年p.50 ②「楷書のまとめ」1年p.24, 「行書のまとめ」2年p.38 ③全学年・全単元</p>
2) 教材の選定		
1 教材の程度、分量、配分は適切か。	<p>①学年の配当時に照らして適切な単元数、分量で、硬筆と毛筆の学習ができるようにしている。</p> <p>②硬筆文字・毛筆文字ともに学びやすさを考慮した簡明な書き方で、書風は健康的で明るく、濃度や筆圧にも配慮して執筆している。教材として指導事項を捉えやすい字形で、かつ、内容価値のある語彙を選んでいる。</p> <p>③行書の字形については、基礎的・基本的な学習であることをふまえて、文字の中の共通する部分は書き方の統一を図るなどの配慮をしている。</p> <p>④図解やイラスト、写真、朱墨文字などを取り入れて、内容理解の助けとなるよう工夫している。</p>	<p>①全学年・全単元 ②全学年・全単元 ③1年p.38, 2年p.54 ④1年p.6-7, p.10-12, p.30-33</p>
2 国語科国語や他教科の学習、学校生活との関連が図られているか。 →内 p.12-13, 14-15, 16-17	<p>①国語や他教科の学習と連動している単元・教材には、(教科関連マーク)をつけて意識づけを図っている。(Dマーク)で、関連する国語の教科書ページなどを見ることができる。</p> <p>②活用単元「生活に広げよう」では、国語との連携を図り、手紙やポスター、本のポップ、パンフレットなど、言語活動と関連する教材を積極的に取り上げ、学んだことを生活に生かす力が身につくように配慮している。</p> <p>③「書写活用ブック」では、手紙や新聞、ポスターなどの書き方や、常用漢字表・人名用漢字表などを掲載して、国語や他教科の学習、生活の中での活用を促している。</p>	<p>①「文字の成り立ちと移り変わり」1年p.28 ②「生活に広げよう」1年p.26, 2年p.64 ③「書写活用ブック」p.1～9</p>
3) 全ての生徒が使いやすい紙面への配慮		
1 特別支援教育への配慮や工夫が適切になされているか。 →内 p.24-25	<p>①学習の流れや情報の軽重が分かりやすいレイアウトにし、紙面上の色の数や分量を抑制することで、生徒の集中を妨げないよう配慮している。</p> <p>②紙面内の学習要素の位置を原則として固定化し、統一を図ることで、混乱を生じることなく学習に取り組めるよう配慮している。</p> <p>③原則として、文意を捉えやすいように文節で改行している。</p> <p>④弱視の生徒のために、教科書と同じ内容の拡大教科書の発行を予定している。</p> <p>⑤学習者用デジタル教科書は、総ルビ・分かち書きで表示する機能を搭載している。</p>	<p>①②③1年p.34-35, 36-37</p>
2 ユニバーサルデザインを実現しているか。 →内 p.24-25	<p>①右利きでも左利きでも教材文字が見やすいように、原則として教材文字を上、書き込み欄を下に配置している。</p> <p>②情報を整理して、だいたいながことがひと目で分かる紙面になるよう工夫している。</p> <p>③色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて検証を行っている。</p> <p>④ゴシック体は、原則として、振り仮名などの小さい文字でも読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>⑤AB判で、大きな書き込み欄と、情報の区切りが分かりやすい紙面を実現している。</p>	<p>①②③④1年p.36, 38</p>

	内容と特色	具体例(教科書該当ページ)
3) 人権上の配慮がなされているか。	○作例や写真・イラストなどに登場する人物について、性別による役割の固定化や人数の偏りがないように配慮している。	○p.3
4) 今日的な課題への取り組み		
1) 現代的な教育課題に対し、どのような取り組みをしているか。 →内 p.16-17	①伝統・文化に関する学習を重視した。文字文化をさまざまな側面から取り上げたコラム「文字のいずみ」を通して、我が国の伝統や文化、さらには外国の文字文化を尊重し、これからの文字文化の担い手としての自覚が高まるよう工夫している。 ②言語活動の題材や教材文字は、SDGs(持続可能な開発目標)につながるさまざまな社会の課題を意識して設定している。教科横断的な扱いも可能である。 【具体例】【防災・安全】2年p.75,【環境】p.4,【国際理解】p.2,【情報活用】p.5,【人権・福祉】p.6,【キャリア教育】1年p.45,3年p.84など。	①「文字の成り立ちと移り変わり」1年p.28-29,「伝統的な用具・用材」1年p.40-41,「書いて味わおう」1年p.48,「書くことを楽しむ日本の文字文化,世界の文字文化」裏表紙裏
2) 道徳教育とどのように関連付けているか。	①豊かな情操と道徳心を養うような語彙を教材文字として選定している。 ②対話的な振り返りや学び合いを取り入れた学習活動を通して、互いを尊重し理解を深める態度を養うよう工夫している。	①1年p.14「大志」,p.97「夢の実現」,2年「豊かな自然」,p.101「感謝する心」 ②p.4写真,単元末の「振り返って話そう」,3年p.91イラスト
3) 授業支援と教員の負担軽減への取り組みが図られているか。 →内 p.6-9, 26-27	①【書写のかぎ】で指導事項を明確にし、学習過程を統一して丁寧に示すことで、指導しやすいよう工夫している。 ②【Dマーク】のある単元では、教科書上のQRコードやURLからインターネットを活用して、教材文字の運動動画を見ることができる。電子黒板やプロジェクターで投影して一斉指導を行う、タブレットで個別学習をするなど、授業の効率化に役立つよう工夫している。経験の少ない先生の補助としても効果的である。	①全学年・全単元 ②p.1,単元内の【Dマーク】
4) 小中接続、高校書道への接続が円滑に行われるよう配慮されているか。 →内 p.10-11, 18-19	①1年生に「小学校の学習を振り返ろう」を設け、小学書写の内容を確認して、中学校での学習の基盤作りができる構成になっている。ここで振り返る内容は、学習指導要領および東京書籍の小学書写教科書の内容をふまえている。また、【書写のかぎ】を核とした学習過程は小学書写でも採用しており、円滑な接続を図っている。 ②3年生に、書道の芸術性につながる文字の表現効果を学ぶ単元を設けたり、高校書道の内容を紹介するコラムを設けたりして、興味・関心を高める工夫をしている。	①「小学校の学習を振り返ろう」1年p.6-13 ②「古典をもとに」3年p.94-95
5) カリキュラム・マネジメントへの取り組みが図られているか。 →内 p.14-15	①「生活に広げよう」では、国語や他教科で扱われる言語活動や題材を取り上げており、関連付けたり合科的に扱ったりすることで効果的な指導ができるように工夫している。 ②他教科等との関連がある単元・教材には、【教科関連マーク】を付している。	①「案内の手紙を書こう」1年p.26,「本のポップを書こう」2年p.64 ②新聞・リーフレット・ポスター・レポート例 活用ブックp.4~7
5) 表記・表現、印刷・造本に関する配慮		
1) 表記・表現は適切なものになっているか。	①文章は的確・簡潔で、学年代階に応じて分かりやすい表現をしている。表記や用語は統一した基準を設けている。 ②中学校で学習する漢字を使用する場合は、学習時期が定められていないことに配慮して、すべて振り仮名をつけている。 ③学習上の着眼点や留意点を伝えるキャラクターやイラストを用いて、生徒が親しみをもって学習に取り組めるように配慮している。	①②全学年・全単元 ③p.2,1年p.30
2) 印刷・造本は生徒の使用に適し、環境に配慮したものになっているか。	①本文書体は、手書き文字の字形に近づけた、特別な明朝体を開発・使用している。 ②AB判のワイドな紙面を活用して、図版を大きくして資料性を高め、書き込み欄を充実させている。 ③毛筆教材文字のページは半紙の縦横比率に合わせてあり、配列の参考になる。 ④硬筆文字や毛筆文字は、印刷の濃度や色味を調整して、より本物に近く、見やすいものになっている。印刷は鮮明で正確である。 ⑤用紙は、鉛筆で書きやすく、十分な強度を持ちながら軽量なものを開発している。 ⑥製本は堅牢で、長期使用に耐えられる。中綴じで開きやすく、書き込みがしやすいようになっている。表紙は耐久性を高める加工をしている。 ⑦環境に配慮し、再生紙や植物油インキを使用している。	①④全学年・全単元 ②1年p.16-17, p.24-25 ③1年p.15 ⑤⑥⑦全体

【QRコード】は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。